

# 3 子どもに自信をつけるほめ方



小学校入学と同時に、体を鍛えるためにスイミング教室に通わせています。最初の頃は張り切って通い、どんどん進級していきました。親としても「よかったな。これからもがんばりや。」と子どもをほめ励ましていました。1年程前から、スイミングに通うことが少しつらそうな感じなのですが、せっかくここまで続けているのだからと、「がんばり、級もあがってきているから」と励ましています。先日、スイミングから帰ってくると、「また、級あがったわ。」と、報告しましたがあまりうれしそうではないのです。「やったな。やっぱり頑張ったら級もあがっていくし、〇〇さんに追いつくためにも、これからも頑張りや。」とほめました。ほめて育てることが大事なので、これからも、とにかくほめて子どもに意欲を持たせようと思っています。



マラソン大会に向けて、今年こそ5分を切ろうと子どもは毎日練習に励んでいました。親も「練習頑張りや。」と励ましてきました。マラソン大会当日、子どもは少し緊張気味でしたが、張り切って登校しました。見に行くと、はじめはトップの方で走っていたのですが、ゴール近くになるとどんどん抜かされ、真ん中ぐらいでゴールしました。帰ってくるなり、子どもは、「5分切れたで。」とうれしそうに言いました。「そうか、それで何番やったん。」「18番。」「18番か。半分よりは良かったけど、せめて10番ぐらいにならんとな。」と言ってしまいました。子どもの表情が少し暗くなるのを見て、よけいなことを言ったかなと反省しました。



子どもへのほめ言葉により、子どもが自信を持って行動するようになったことはありませんか。また、どのような時に、どんなほめ方をすればよいとお考えですか。

.....

.....

.....

## ◆ 自信を持たせるほめ方のポイント ◆

## POINT

親から認められた、ほめられたことからくる安心感は、子どもにとって大きな自信となります。自信ができるとやる気を持って、積極的に活動するようになります。しかし、親の思いにあった行動をしたときだけほめていたのでは、子どもは自分の気持ちをおさえ、親の顔色を見ながら親の思いに合うよう行動しようとし疲れてしまうこともあります。子どもが喜びを感じ、自尊心を育てていくようにほめることが大切ではないでしょうか。